

『課題解決型インターンシップ』 一般社団法人 新宮町おもてなし協会 実習報告

課題解決型インターンシップとは、

- ・『実践する力』（学んだ知識を応用し、実際の仕事の中で活用していく力）の育成を目的とした、2・3年生対象の選択科目「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」の1つの型。
- ・企業が実際に抱える課題に取り組み、課題を解決するためのプロセスを実践することで実社会でも応用可能な汎用的能力を養うことを目的とする。2名程度でチームを組み活動することにより、自分の専門性を活かしながら他者とチームで働く力を養うことができる。

- 企業名 : 一般社団法人 新宮町おもてなし協会
- 課題 : 3号線沿いの一部の人に人が集まり、他の魅力ある場所が知られておらず、誘致できていないこと
- 達成目標 : 新宮町で知られていない場所、魅力が伝わっていない場所を、動画やWEBなどの観光販促物を通じて知ってもらえる、来てもらえるようにする
- 概要 : 新宮町にある流行らせたい施設やイベントの動画を作成
例えば、「こみんかみかん」、「立花山」、「竹灯籠祭り」、「沖田中央公園」に焦点をあて、1分程の動画を作成した

▽提案内容

今回は若者に視点を当て、SNSを活用して呼びかけをし、もっと新宮町に来てもらいたい！

現状、FacebookやInstagram等のSNSを使用したPRがメインであるが……



若者が見ているSNSを使うほうがよいのでは？

**TikTokやYouTube Shortで
ショート動画をバズらせたい！！**

【実習を通じての感想や学んだこと】

知能機械工学科 3年 小林 武竜

自分の将来やりたい職業とは異なるジャンルの仕事を通して、PR事業や実際に足を運んで五感を使用する部外研修にて自分の引き出しを増やせたと感じました。また、観光客を集客するには時間とお金もかかるし、コロナなどの影響も受けるので大変だと思いました。

活動中の写真



実際のミーティングの様子



動画作成のための素材集め



動画編集の一部



実際に完成した動画のサムネイル

知能機械工学科 2年 大塚 匠二

当初は新宮町への誘客手段が見えない状態からスタートして不安だったが、徐々に自分なりにアイデアをだせるようになっていきました。協会での発表も、実地研修で感じた事や改善案など伝えたいことは話せたため自分なりに出来たと思います。

○今回、まず立花山や相島に行きました。当初、僕たちは立花山や相島の魅力を引き出すためにライトアップ事業やタイのタクシーの「トゥクトゥク」で相島サンセットツアーなどの計画を検討していましたが、コストを考慮し取りやめることにしました。そこでお金を使わずにPRできるSNS事業として動画編集を行いました。個人的に動画編集の経験があったため、良い動画が作れたと思います。今後は動画の細かい修正を行っていきたいです。(小林)

○最初の一週間はほぼ外での研修でした。そこで感じたことや改善点をレポートにまとめた上で協会の人に確認をとってもらいました。レポートの内容に関して、もっとこのような書き方をした方が良いなどのアドバイスを受けて、より良い文章を書こうという意識を持つことが出来るようになったと感じます。このような意識は大学生活のみならず、卒業後にも役立つことだと思うので、それを踏まえた上で今後に取り組んで行きたいです。(大塚)